

高等学校 令和5年度（1学年用）教科

国語

科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組

教科担当者：（1組：内田）

使用教科書：（新編 現代の国語（大修館書店））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値や我が国の言語文化への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
○ことばの学びに向けて ・評論の読解を通して自分の考えをもつ。	「『変わる』ことを楽しもう」茂木健一郎 ・「変わる」ことについて筆者の考えを読み取り、高校生活を始めるにあたっての参考にする。 ・これからの学習で取り組みたいこと、興味のあることについて、自分の考えを見つめたり話し合ったりする。 <教材> ・教科書 ・ワークシート			○	【知識・技能】 ・主張と根拠などの関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	○	○	○	6
○ことばの準備体操 ・これから取り組んでいくさまざまな言葉の学習のために、準備する。	ことばの準備体操 ・発音や聞き方に注意して話したり聞いたりする。 ・読みやすくなりやすい字で正確に書く。 ・声量や速さ、間、強弱を工夫して音読する。 <教材> ・教科書 ・ワークシート	○	○	○	【知識・技能】 ・言葉の大切さを意識し、よりよい言葉の使い方を工夫しながら「話す」「聞く」「書く」「読む」活動に取り組んでいる。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を認識し、はっきりとした発音、適切な聞く姿勢、読み手にとってわかりやすい字形、音読の工夫に注意しながら活動に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「話す」「聞く」「書く」「読む」それぞれの活動に対して意欲をもっている。	○		○	3
○ことばの基礎 ・基礎的な国語の語彙を身に付ける。	・漢字の読み書き（漢検10～7級） <教材> ・漢字プリント			○	【知識・技能】 ・漢検10～7級程度の語彙が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢検10～7級程度の語彙の学習に対して意欲をもっている。	○		○	4
定期考査						○	○		1
1 学 期 ○わかりやすく説明する ・評論の読解を通して説明のしかたとらえる。	「人間はゴリラとチンパンジーのどちらに近いか」山極寿一 ・説明のしかたに注意して文章を読む。 ・順序を表す言葉や接続表現、問題提起と答えに答目して、文章の構成をつかむ。 <教材> ・教科書 ・ワークシート			○	【知識・技能】 ・文、文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に学習に取り組む、説明のしかたとらえようとしている。	○	○	○	5
○日本語を使いこなす ・場面に応じたことばの使い分けについて適切に理解する。	ことばの使い分け ・場面や目的に応じて適切な言葉を選ぶ。 ・敬語の正しい使い方や類義語のニュアンスの違いを理解し、適切に使い分ける。 <教材> ・漢字の読み書き（漢検10～7級） ・漢字プリント	○	○		【知識・技能】 ・場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の正しい使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴をふまえて、場面に応じた適切な言葉や表現を工夫している。 ・「書くこと」において、場面や目的に応じた適切な言葉を選び、表現のしかたを工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉の正しく使い分けることに意欲をもち、言葉を意識して、自らの言語生活を豊かにしようとしている。	○	○	○	4
○ことばの基礎 ・基礎的な国語の語彙を身に付ける。	・漢字の読み書き（漢検10～7級） <教材> ・漢字プリント			○	【知識・技能】 ・漢検10～7級程度の語彙が身に付いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・漢検10～7級程度の語彙の学習に対して意欲をもっている。	○		○	4
定期考査						○	○		1

